

企業の社会的責任

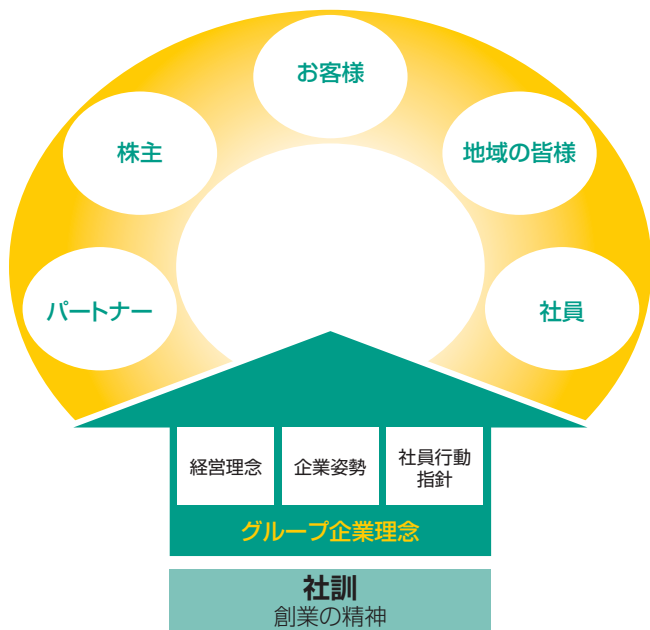
ヤマトグループは、コンプライアンスを事業経営における最重要課題と位置付け、事業の収益性のみならず、公共性の高い企業グループとして公正に経営していくことが、企業の永続的な発展の大前提であると認識しております。

事業の原点として位置付ける「グループ企業理念」にそって、あらゆるステークホルダーに対し、「安全」「環境」「社会」の各側面から積極的な貢献活動を展開し、企業の社会的責任を全うしてまいります。

2008年4月より開始しておりますヤマトグループ中期経営計画「満足創造3か年計画」の経営方針におきましても、事業の拡大とあわせてCSR経営の徹底を掲げております。

「コンプライアンス」と「環境問題」の2項目については、特に重点的に取り組んでまいります。

「グループ企業理念」の構成図



環境

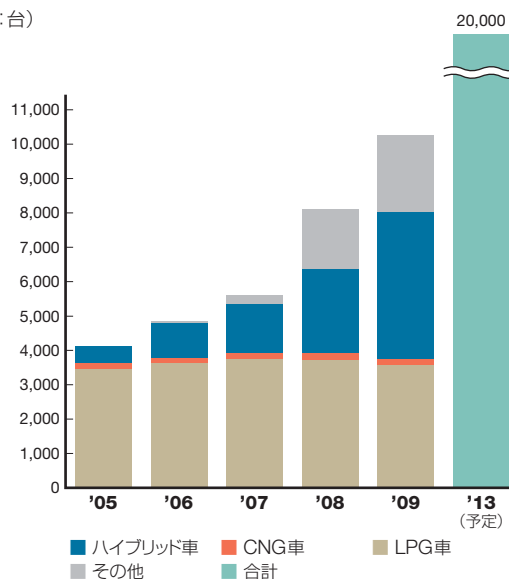
低公害車の積極導入

ヤマトグループは、中期経営計画「満足創造3か年計画」においてグループ全体のCO₂排出量を2006年度比99%とすることを目標に掲げています。低公害車の導入による使用燃料の削減など環境対応を強化し、グループを挙げて取り組んでおります。

目標達成に向けた具体的な取り組みとして、グループの保有車両の87%を占めるヤマト運輸(株)におきましては、2013年3月期までに20,000台の低公害車導入を目指しております。2009年3月期には、ハイブリッド車

低公害車累計保有台数の推移

(単位:台)



1,847台をはじめとした2,238台の低公害車を導入し、低公害車の累計所有台数は、10,240台となりました。

これにより、ヤマト運輸(株)における低公害車の割合は、22.4%となりました。

宅急便サテライトセンター出店による車を使わない集配の推進

ヤマト運輸(株)では、2009年3月期現在、自動車を使用せず、台車・リヤカー付き自動車で集配を行う宅急便サテライトセンターが都市部を中心に全国958店あります。

サテライトセンターの出店は、セールスドライバー一人当たりの集配担当領域が小さくなることによってお客様に対するきめ細かいサービスが提供できるばかりではなく、荷物の増量に伴う車両台数の増加抑制効果もあります。2013年3月期までに1,000店の出店を目指しております。

社会

子ども交通安全教室

ヤマトグループでは、事業活動において常に「安全第一」を重視しており、中でも子どもの交通事故防止は、重要なテーマの一つです。



1998年より、地域の子どもたちに交通事故から身を守る知識を伝える場として、全国各地で「子ども交通安全教室」を開催しております。

指導はすべてヤマト運輸(株)の社員が担当し、子どもたちが安全について楽しみながら学べるよう、さまざまな工夫をしております。2009年3月期は、1,539か所で開催し、約17万人の子どもたちが参加いたしました。

外部評価

ヤマトホールディングス(株)は、FTSEグループによる評価の結果、FTSE4Goodの選定基準を満たすと認定され、引き続きFTSE4Goodの組入銘柄に選定されました。



FTSE4Good指数シリーズは、国際的に認可された企業責任基準を満たす企業活動を評価し、そのような企業への投資を促進するために作成されております。透明な運営方法・選定基準とFTSEグループの高いブランド・イメージにより、FTSE4Good指数シリーズは社会的責任投資(SRI)商品に最適な指数となっております。